



St. Lazar's day

セックス

「第三の性：Le Troisième Sexe」

院長 西 田 敬

今更の力説は気が退けるが、男女二種類の性が存在する。両者は染色体構成に拠り峻別される。46XX、は女性、他方は46XYで生涯不変。処が女性には更に第三の性へと進化する。即ち、母性。生後、思春期を契機として獲得する。が、此の第三への分化を断固拒否し、第二の性の儘での自律、独立を強調、実践したのはフランスの実存主義者、ポーヴォール女史(Simone de Beauvoir)。女史に反駁する様だが、母性への分化は人類進化の証、種の保存の要諦。野郎共じゃ逆立ちしても金輪際、為れっこない性、夫が母性。但し、期限が来れば、元の女性に戻る、云い換れば、閉経。

抑抑、不都合の発端は男性には無い閉経現象が女性に起る事。事の顛末は既に母の胎内で始まって居る。男女ともに子孫へ遺伝情報を引き継がせる胚細胞がある。授・受精が可能な配偶子と為るには、減数分裂で染色体数を半減させねばならぬ。未熟な卵細胞で不完全に囲まれた女性の原始生殖細胞は卵巣網から分泌される減数分裂誘発因子に曝されて卵母細胞へと分化する。一方、いち早く精細管内に収納された男性の原始生殖細胞は精巣網からの誘発因子に晒されずに精粗細胞の儘、出生に至る。幹細胞でもある精粗細胞とは異なり

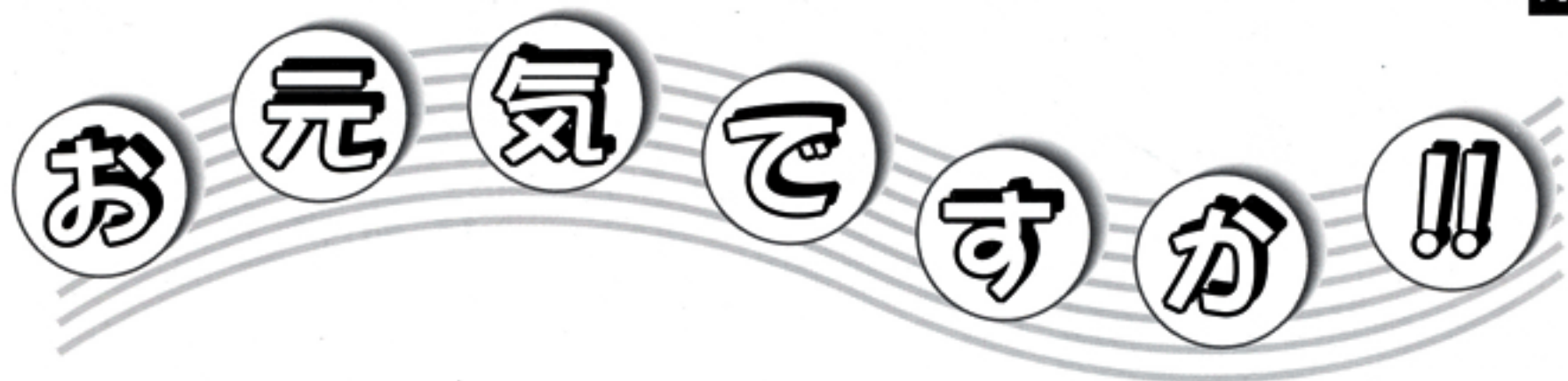
新生児卵巣の卵母細胞は最早自己増殖できない。排卵や卵胞閉鎖などで消耗し尽くせば、卵胞は卵巣から消失する。従って女性の妊孕力には自ずと、時間的な制限がある。母性は再び女性へ戻らねばならぬ。其の移行期間が閉経期で、之を過ぎれば月経周期も無くなる。性ホルモンなど、母性としての機能を支えていた物質は漸減し、臆て消失する。日々の生活の調子や気分も影響される。

認知症や統合失調症など頓珍漢な和製医学用語も目立つが、「更年期障害」は別。卵巣の内分泌機能の終焉期に出現し得る種々の愁訴を指す病名。云い得て妙、ピッタリ埋り過ぎて女の一生のクライマックスの1ページに暗い影を摺込でしまった。此の命名は薬九層倍などと悪口を叩かれる薬屋の仕業か将又、此奴らと結託した莫迦医者 of 猿知恵敷。避けられぬ宿命なのか！「更年期障害」の名が膾炙した許に中将湯の一辺倒では済ま無くなった。

旧ヨーロッパ、特にブルガリアで復活祭の1週前の土曜日に催される「聖ラザルの日：St. Lazar's Day」を御存知歟。之は初経(初潮)を迎えた女兒を讃える、詰り女性から母性への変貌を賀するお祝い。即ち、一人の母性誕生を社会的にも御披露目する行事で、我国にもこうした慶事には赤飯を炊いて祝う習慣があった筈だが、今も地方に由っては在る歟も知れぬ。斯かる祝福で迎えた母性の誕生を更年期障害など凶事の如き暗い影で終るのはいかん。

医学と更年期の縁は深い。英語ではclimactericで、climaxに通ず。種子形成成就の達成感から、横たわる、クリニックなどとの関連は要医療のエストロゲン欠落症状。精神症状は“空き巣症候群(empty-nest syndrome: 子が巣立ち去った跡の巣の寂寥感)”に代表される。母性から女性への回帰、本来は初潮と同等の慶事であり乍も、医者冥利に尽きるほど高度の管理を要する。高が更年期症状と雖も徒疎かには出来ませぬぞ、御同輩！





◎ ヒブ(Hib)ワクチンと肺炎球菌ワクチンのすすめ ◎

小児科部長 岡成 和夫

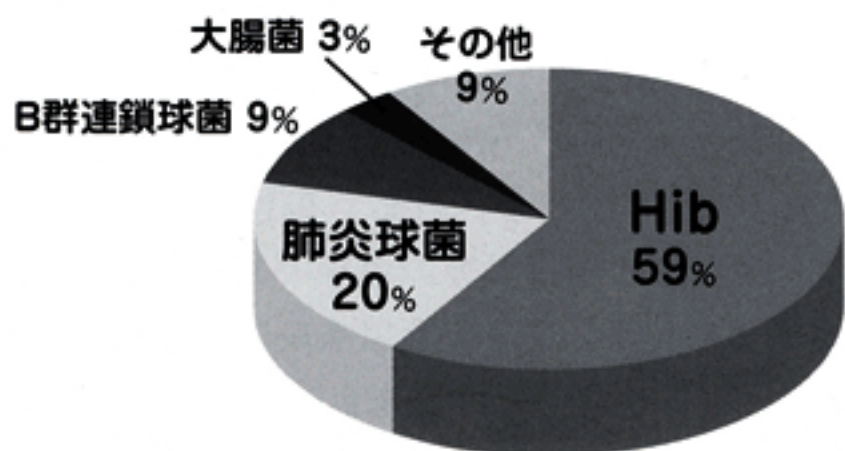
「ワクチンで防げる病気で命を失わない!」これは小児科医からの提案です。みなさん、「三種混合ワクチン」や「BCGワクチン」は聞いたことがあるでしょう。「ヒブ(Hib)ワクチン」や「肺炎球菌ワクチン」を聞いたことがありますか?どちらも最近できたものなので馴染みがない方が多いと思います。「ヒブ(Hib)」はHaemophilus influenzae type b(インフルエンザ菌b型)の略称で乳幼児の重症感染症の原因菌の一つです。「肺炎球菌」は名前の通り肺炎の原因菌の一つで乳幼児で、重症感染症を引き起こします。これらは決して珍しい菌ではなく、Hibは乳幼児の20人に1人、肺炎球菌は乳幼児の2~5人に1人の鼻の中に潜んでいます。これらの菌は保育園や幼稚園で感染していきます。保育園や幼稚園に通っている兄弟からも感染します。保育園や幼稚園でHibにかかる危険度は、1歳未満12.3倍、1~2歳7.2倍、2~3歳3.8倍と、幼いほど高いです。(Hibワクチン導入前のアメリカのデータ)

これらの菌が起こす重症感染症とは…

○化膿性髄膜炎

髄膜(脳や脊髄の表面を覆う膜)を侵す病気です。

化膿性髄膜炎の原因菌は…



乳幼児では熱以外に症状がないことが多く、その多くは発見が遅れます。治療されても3人に1人は死亡するか後遺症(てんかん、麻痺、発達遅滞など)を残します。

○急性喉頭蓋炎(こうとうがいえん)

のどに感染して窒息死する病気です。Hib感染症の8%を占めます。発症してからの経過が早いので、診断されたときには手遅れのことがあります。

○菌血症(きんけっしょう)

血液の中に菌が侵入して全身を回ります。その一部は化膿性髄膜炎の原因となります。Hibと肺炎球菌が約80%を占めています。

化膿性髄膜炎に罹患した人の年齢は乳幼児で圧倒的に多く、出生直後の子でも発症します。その割合は生後2か月から増加します。化膿性髄膜炎を予防するためには早めのワクチン接種が必要です!実際に、アメリカではHibワクチンを始めた後、化膿性髄膜炎や喉頭蓋炎に罹る人が減りました。Hibワクチンも肺炎球菌ワクチンも生後2か月から接種できます。ワクチンの副反応は接種部位が赤く腫れる、熱が出る、発疹が出る、などの報告がありますが、現在までに命に関わるような重篤な副反応は世界でも報告されていません。

どちらも高価なワクチンでしたが、本年2月1日より日田市ではHibワクチンも肺炎球菌ワクチンも接種費用全額助成になりました。「ワクチンで防げる病気で命を失わない」をスローガンにワクチン接種を積極的に勧めていきたいと思っています。

※接種対象年齢や回数、スケジュールなど不明な点がありましたらなんでもご相談下さい。



看護部 だより

第3回

済生会日田病院
看護部

「医療連携と地域医療室の役割」 副看護部長 高村 美由貴

医療連携？地域医療室？はじめて聞かれる方も多いと思います。今回は皆様の疑問が少しでも解決し、私たちを活用していただけるように説明させていただきます。

1. 医療連携とは一体、何でしょうか？

地域にはさまざまな医療機関や介護福祉施設があります。こうした機関や施設がそれぞれの役割を分担し、お互いにスクラムを組んで、患者さんや住民の健康と福祉を支えていく仕組みのことを「医療連携」と呼びます。

2. なぜ、医療連携が必要なのでしょう？

①国民医療費問題

国民医療費のおよそ半分が病院医療費です。入院期間が長くなると入院医療費が増えていきます。また、外来医療費をみても病院の外来医療費は診療所等よりも単価が高めになります。国民医療費を節減するためには入院期間を短縮し、病院外来への患者集中を減らすことが医療費適正化には必要なのです。

②慢性疾患が著しく増えたこと

がん、循環器疾患、脳卒中、糖尿病など、慢性疾患の患者さんは生涯にわたって複数の医療機関の間を受診します。地域全体で一人の患者さんを、それぞれの医療機関や介護施設が役割分担しながらフォローする時代になってきました。

このような問題を解決するために、医療連携が必要になっているのです。

3. 医療連携は誰がするのですか？

地域医療の円滑な実施には、それぞれに異なる機能間の連携を調整するコーディネーター役が必要です。このコーディネーター役を果たすのが、病院の中にある「地域医療室」（病院によっては「地域医療連携室」「医療連携室」と呼ばれている所もあります）になります。

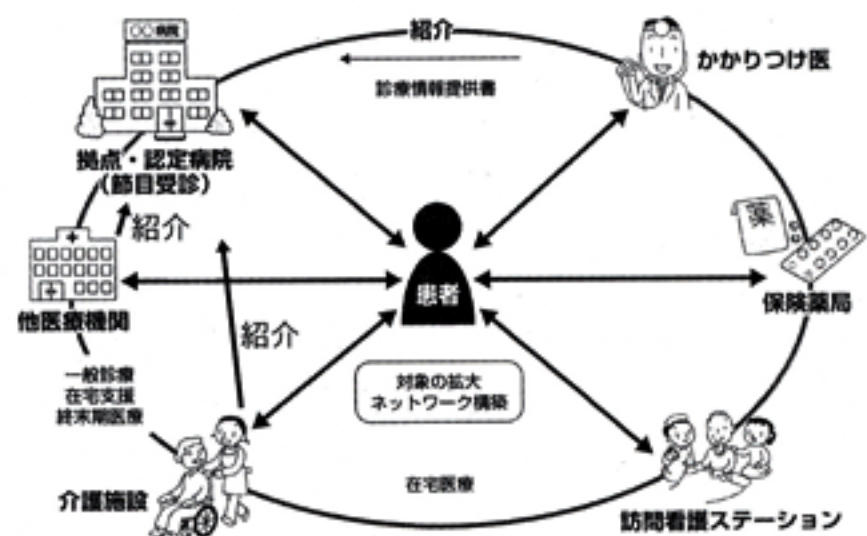
病院の地域医療室は、医師、看護師、ソーシ

ヤルワーカー(MSW)、事務職員など各部門のスタッフで構成されています。

業務内容は、かかりつけ医やほかの病院からの紹介状管理、返書管理、検査予約、紹介・逆紹介などのデータベースや統計管理、入院患者さんの転院調整、患者さんからの相談対応、ほかの連携病院群などとの関係構築、院内の医療連携委員会の運営、退院時ケア・カンファレンスの運営、開放型病床の運営や広報活動に至るまで、多岐にわたっています。

4. 病院の具体的な役割は？

- ・大病院（大学病院など）からは治療が終了した後の在宅に帰るまでの治療先
- ・地域の開業医からは自分の医院・診療所では実施できない検査や治療を行う際の紹介先
- ・往診患者さんが急変した際の受け入れ先
- ・高齢者施設からは急変した場合の治療先などとして病院は機能しています。



医療連携、地域医療室についての疑問は解決できたでしょうか？

私たちは、住民の皆さんが身近な地域で適切な医療を受けられるよう、効率的な医療システムの構築に努めています。

入院・外来患者さんの医療費や退院・転院などの相談は医療相談員（社会福祉士・精神保健福祉士）が担当しています。気軽に声をおかけください。

はじめまして

ドクター紹介

- ①氏名 ②担当診療科
- ③趣味・モットー ④私の健康法
- ⑤患者さんへ一言



ひがしやま とも ひこ
 ① 日笠山 智彦 (H23.4.1 着任)
 ② 内科
 ③ 趣味は温泉に入ることです。時間があるなら旅行が好きです。南極大陸以外は制覇しました。

④ とにかく笑うことです。普段から笑えることを探しています。
 ⑤ ひた地域の救急医療に貢献できるよう頑張りますので、皆様どうぞよろしくお願ひします。

ふれあい掲示板

ふれあい看護体験

5月12日の看護の日にあわせて当院で毎年実施している看護体験を今年も5月11日に行いました。今年は大分県立日田高校の男子生徒1名と女子生徒1名が入院患者さんの手や足を洗うなど、看護師の仕事を体験しました。わずか1日の体験でしたが、看護師の仕事の一面を理解していただく貴重な機会になったのではないのでしょうか。

三和小学校鼓笛隊演奏

日田川開き観光祭での鼓笛の演奏にさきがけて、三和小学校の鼓笛隊が5月16日に当院にやって来ました。5、6年生の皆さんが「三和小学校校歌」「カントリーロード」「児童会の歌」の3曲を演奏、入院患者の皆さんも応援にかけつけ、本番の観光祭での演奏も頑張っ、と声援を送りました。



【6月・7月の巡回診療日程のお知らせ】

地区名	診療日	場所	時間
東羽田高花	6月 7月 14日(火)・28日(火)、12日(火)・26日(火)	高花公民館	1:45~3:15
古後	6月 7月 21日(火)、19日(火)	古後生活改善センター	1:45~3:15

※身体のごことお悩みの方は、お気軽にお出でください。

*健康保険証、医療受給者証(または高齢受給者証)を持参してください。

*病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。

済生会日田病院の「理念」と「基本方針」

理念 「済生」の心を受け継ぎ、医療と福祉の充実・発展を通して、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

- 基本方針**
1. 生活困窮者支援事業を推進します。
 2. 信頼される救急医療体制を構築します。
 3. 関係機関との連携を図り、高度医療を提供します。
 4. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実を図り、患者本位の医療を実践します。
 5. 中核病院として、地域の医療水準の向上に努めます。
 6. 総合的な医療の質の管理を行い、健全経営を目指します。

患者の権利と義務

1. 最善で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. 個人として、その人格や価値観が尊重される権利があります。
3. 自己の病気や治療について、説明を受ける権利があります。
4. 自ら治療方法を選択する権利、また自ら治療を拒否する権利があります。
5. 治療に当たり症状を正確に告知する義務があります。
6. 医師の指示に従い、病院の規則を遵守する義務があります。
7. 診療費を支払う義務があります。